

演題

「一生勉強、一生青春 ―仕事のやりがい・喜び・楽しさ・厳しさ―」

平成 21 年度第 4 回 平成 22 年 2 月 15 日 渋川市立赤城南中学校

はじめに

皆さん、こんにちは。今日は、「一生勉強、一生青春―仕事のやりがい・喜び・楽しさ・厳しさ―」というテーマでお話をさせていただきます。仕事の話なので、最初に私の仕事についてお話をさせていただきます。一つは、開倫塾という学習塾を栃木・群馬・茨城の 49 か所でやっております。塾生数は約 6,500 名、先生は約 350 名の学習塾です。それから、福島市にある有朋学園有朋高等学院という高等学校の理事長をやっております。また、宇都宮大学大学院工学研究科で、大学院生を教える客員教授をやっております。足利市にある特別養護老人ホーム清明苑の理事を 20 年ぐらいやっております。白内障の手術用のメスや手術用の縫合針、歯根治療用のダイヤモンドバーなどをつくるマニー株式会社の社外取締役をやっております。マニー株式会社は、ベトナム、ミャンマー、ラオス等に工場がある会社です。それから、CRT 栃木放送で毎週土曜日の朝 9 時 15 分から「開倫塾の時間」というラジオ番組を担当しています。これは 23 年間ぐらい続いています。今日は、これらの仕事を通して考えたことをお話します。

私の好きな言葉

私の好きな言葉をお話いたします。私は、皆さんと同じ中学生のときに足利市立山辺中学校の柔道部にいました。そのときの監督、椎名弘先生に教わったのが「練習で泣

いて、試合で笑え」という言葉です。泣きはしませんでした。泣くようにつらい練習でした。これは非常に厳しい言葉でしたが、今でもよく覚えています。その椎名弘先生からは「**自他共栄**―自分も他人も共に栄えよう」という言葉も教えていただきました。これは嘉納治五郎さんの言葉だそうです。それから、中学 3 年生のときのクラス担任の岡田忠治先生に教わったのが「**ブルドッグ魂**」です。これは何のことかと先生に質問したら、食い付いたら離すなということでした。皆さんも、クラス担任の先生や各教科の先生からよい言葉を教わったと思ったら、メモをしておくとい生の宝物になると思います。

足利高等学校のマラソン大会のハチマキに書いてあったのが、「**一所懸命**」という言葉です。字が違うのではないかと聞いたのですが、そうではありませんでした。これは、一つの所で命を懸けるくらい熱心なものごとに取り組めということだと言われました。慶應義塾大学法学部法律学科に入って弁護士を目指し勉強していたのですが、そのときに、犯罪学・刑事政策のゼミの宮沢浩一先生に教わったのが「**注意一秒・けが一生**」です。ちょっとしたことで間違っ犯罪を犯してしまうと、それが大変なことになるから気をつけましょうということです。また、小泉信三先生という慶應義塾大学の前の塾長先生から教えていただいたのが「**練習は不可能を可能にする**」です。これはよい言葉ですね。小泉信三先

生はテニス部の顧問をなさっておられましたので、テニスの指導の中で出てきた言葉です。京都に行ったとき、山科の一燈園で石川洋先生から教わったのが「**会った人は皆友達**」です。これもなかなか面白い、よい言葉ですね。そのときに「**人生逃げ場なし**」という言葉も教えていただきました。目の前のことから逃げてはいけないということです。それから、「**あなたは本当の月を見たことがあるのか、本当の自分を見たことがあるのか**」という言葉で、自分を見つめなさいということを教えていただきました。

私の大好きなユネスコ協会の先輩からは、「**目には遠いが、心は近い**」というインドのことわざを教わりました。これはお互い遠く離れていても心は近い存在でありたいものだという意味だと教えていただきました。

私は、人間は自分自身を律して生きれば110歳まで生きられると思っています。このように人生は長いですから、大事なことは「**いつまでも若々しく生きる**」ことですね。これは覚えておいてください。

そのためにはどうすればよいでしょうか。私どもの会社は小さい会社で60歳が定年ですので、定年になると私のところに挨拶に来ます。そのとき私は、85歳すぎまで働いてくださいと引きとめています。ただし、元気で若々しくないといけないので、いつまでも元気で若々しくいてくださいとお願いしています。それから最後の言葉です。私の好きなドラッカーという経営学者が教えてくれたのが「**教育ある人とは、勉強し続ける人**」という言葉です。皆さんにお願いしたいのは、勉強は中学校で終わり、高等学校、大学、大学院で終わりではなく、学校を出てからが勉強だということです。

皆さんには好きな言葉がありますか。もし、中学校をはじめ様々なところでいろいろな方から教わった心を打つ言葉があったら、忘れないうちにメモをしておきましょう。気に入った言葉を手帳に書いておき、つらいときなどに、折に触れて読み返してみると励みになりますので、是非やってみてください。

仕事のやりがい・喜び・楽しさ・厳しさ

人は何のために働くのか、これは非常に難しいテーマです。私の考えの一つは、「**生活できるだけの収入を得るため**」ということです。「え！お金のためなのか」と思うかもしれませんが、働くのは収入を得るため、まさにお金のためなのです。例えば、私はよくインドに行きますが、インドには一所懸命働いても人間らしい生活ができない人がまだたくさんいるのです。インドに行ってよくわかったのは、仕事をするにより、人間らしい生活ができるくらいのお金はもらえたらいいなということです。ただ、お金のためだけに働くというのではあまりにも寂しいですから、もう一つ「**仕事を通して自己実現をするため**」ということをつけ加えたいと思います。今日は仕事をしてよかったなと自分で感じられることが、素晴らしいことだと思います。

また、仕事を通して「**お客様のお役に立つこと、世の中のお役に立つこと**」も大事だと思います。お役に立つとは、お客様や世の中の問題を解決することです。例えば、私は以前体調を崩したことがあり、毎週鍼灸の治療に行っていますが、そのおかげで今は健康でいられるのです。つまり、鍼灸の先生は、私の健康を維持するという問題を解決してくれているのです。有難くて、いつも感謝しています。そう考えると、仕事は面白いのではないのでしょうか。皆さん

の御家族の方の仕事も見ていくと、とても面白いと思います。お客様や世の中のお役に立つことが、仕事の喜び・楽しさ・厳しさといえると思います。

競争相手に負けないためには

ただ、どんな仕事にも競争相手がいます。競争相手に負けないようにするには、**独自性**を持たなくてはなりません。お客様にとっての幸せとは、選択肢があること、つまり、ものやサービスを求めるときに 2 つ以上のものから選ぶことができることです。強力な競争相手、ライバルがいるとお店としては大変ですが、相手に負けないよう創意工夫をすることになります。そのときに何が大切かというと、一つ目は**価格**(値段)です。お客様が気軽に買える値段設定が大切です。二つ目は、お店の**場所**が大切です。お客様の利用しやすい場所でものやサービスを提供することです。三つ目は、お客様との**コミュニケーション**が図れるような広告宣伝も大切になります。

では、競争に負けないためにはどうしたらよいのでしょうか。**競争に負けないためには勉強しかない**のです。これから先は少し難しいお話になりますが、少し考えてみてください。まず初めは、**お客様の問題とは何か、世の中では何が求められているのかを発見**することです。これは非常に難しいことです。皆さんも社会に出ると、このことばかり考えるようになります。

次は、**社会の問題とは何かを知る**ことです。先ほどお話しました、特別養護老人ホームなどは社会の問題を解決するのです。皆さんは、2025 年問題というのを知っていますか。今 60 歳ぐらいの世代の人たちは人口も多く、その団塊の世代と呼ばれる人たちが 2025 年ごろには皆 75 歳すぎになります。この人たちがいかに元気に生き

るかが、大テーマになってくるのです。もし皆さんが医療施設や介護施設に勤めたいならば、社会の問題とは何かをよく考えてください。

さらに、**自分の会社の強み・弱みを知る**ことが大切です。強みを伸ばし、弱みを補強するのです。では、どこから学ぶのでしょうか。まずは、**競争相手から学ぶ**ことです。それから、**模範となるところから学ぶ**ことです。以上の勉強を通して、競争に負けないものやサービスを作り出していくことになります。勉強すればするほど面白いのが仕事です。

職場生活で大切なこと

職場で大切なことは何かといいますと、1 つ目は**明るく、楽しく、元気よくチームでプレイ**をすることです。これはわかりやすいと思います。チームプレイとは、**自分のポジションの仕事は自分の力で守り切る**ことです。そのためには仲間を信頼することです。仲間に信頼されるだけの仕事を自分でしっかりすることです。

2 つ目は**フェアプレイ**です。これは、社会や職場のきまりを守り、その中で仕事をするということです。また、自分がされて嫌なことはしないことです。

3 つ目は**問題点を先送りしないで仕事の上での議論は自由にすること**です。ただし、議論を自由にして喧嘩になってはいけませんから、職場ではできるだけ丁寧(ていねい)な言葉、です・ます調で話すことです。それから、人の話をよく聞くことです。また、わかりやすい言葉で説明することです。最後に、人格非難は絶対にしないことです。

4 つ目は**約束した時間の少し前に元気に到着**することです。時間の前に到着できることは、仕事をする上で大事な能力です。遅刻や欠席をしないことが大事なのは、学

校と全く同じです。今、このように、学校で勉強していることはすべて社会で役に立つ予行演習だと思ってやってください。

5 つ目は **5 S** です。整理・整頓・清掃・清潔・躰(しつけ)の頭文字をとって **5S** といいます。どこの職場でも大切なことです。では、躰とはどういうことでしょうか。5S でいう躰とは他人に言われなくても自分から進んでできること、習慣になっていることです。躰には別の意味もあります。それは **美しい立居振舞い** です。その一つが服装です。オリンピックの選手で服装を注意された人がいましたが、場所にふさわしい服装があるのです。また、お辞儀の仕方も大切です。立居振舞いは、美しく丁寧にすることです。また、敬語表現を含む言葉遣いができることも大切な躰です。職場ではできるだけ丁寧語を使います。また、大きな声で挨拶をすることも大切です。人間関係をよくするには、元気な挨拶が一番です。自分のことを嫌だなど思っている相手にも、元気に挨拶しましょう。喧嘩をした後も、元気に挨拶しましょう。すぐに仲良くなれますよ。

最後は、**メモを取る**ことです。仕事に教科書はありません。お客様・ビジネスパートナー・上司・同僚等から学んだことは、どんどんメモを取ってください。そして、メモしたことはわかりやすく整理して覚えてください。これも学校の勉強と同じですね。授業中に大切なことをノートに取るのと同じように、メモを取りましょう。メモが取れるのは大事な能力です。

学校での勉強は将来すべて役に立つ

学校の勉強は社会に出て役に立つのかということですが、私はすべて役に立つと考えています。特に役に立つのは、保健体育でしょう。いわゆる 5 教科も大切ですが、

一番大切なのは保健だと思います。そこには長生きできる秘訣が書かれています。技術家庭も大切です。家庭では自分のことは自分でできなくてはなりません。また、豊かな人生を過ごすには音楽や美術も大切です。保健体育・技術家庭・音楽・美術は、学校に行っている間にしか勉強しませんので、今を大切にしてください。

教科以外の様々な活動もすべて役に立ちます。学校行事・部活動・学級活動・当番はすべて大切です。当番の中ではトイレ掃除が大切です。開発途上国に行きますと、トイレが汚くて入れないことが多いです。日本のトイレは極めてきれいですが、トイレ掃除ができないとお客様に来てもらえないでしょう。

学校生活では**学び方・学ぶ能力**を身につけてください。一度「うんなるほど」と理解したことをどう身につけるのか。音読練習、書き取り練習、計算・問題練習を学校時代からやっていただくと、社会に出てから新しいことを学び、それを身につけるときに役に立つと思います。それから、読書をしてください。**読書により思慮深さを身につける**、これが大切です。本は何回読んだらよいのか。私は、本は 6 回ぐらい読んだほうがよいと思います。1 回では忘れてしまいます。3 回目ぐらいで何となくわかってくるのです。気に入った文章があったら「**書き抜き読書ノート**」に書き抜き、時々読み返すと少しずつ自分のものになってきます。また、**新聞を読んで自分で考える力、批判的思考能力**を身につけるとよいと思います。社会の問題がわからないと、よい仕事はできません。世の中の激しい動きに合ったものやサービスを提供したり、世の中の動きを先取りしたりするのが仕事ですからね。気に入った記事があったら「**スクラップブック**」にスクラップ、切り抜き

一生勉強、一生青春

■生徒の感想文から■■■■■■■■■■

今回の講演を聞いて印象に残ったのは、「5S」という言葉です。整理・整頓・清掃・清潔・躰というのは、僕が将来なりたいと思っている調理師ではとても大切なことだと思います。林先生に話していただいたことを参考に頑張っていきたいと思います。

林先生は、将来会社に入った時には服装や大きな声で挨拶すること、丁寧な言葉で話すことが必要と言っていました。これらのことは中学生活で学べることなので心掛けてやっていきたいと思いました。また、学校での学び方は将来役に立つと言っていました。勉強や部活に積極的に取り組み、将来に役立てていきたいです。将来に対してすばらしい話をありがとうございました。

林先生の講演を聞いて、僕の仕事に対する考え方が変わりました。一つは、仕事は楽しみや喜びがないと思っていたのですが、仕事には厳しさがあるけれども、楽しみや喜びもあるということです。もう一つは、仕事をする理由です。僕は生活するためにだけだと思っていましたが、お客や世の中の役に立つためだとわかりました。仕事について色々教えていただきました。このことはしっかり覚えておき、将来に役立てていきたいです。

仕事は生活できるだけの収入を得るためだけではなく、お客や世の中の役に立つことが大切だと教えてもらいました。また、これからの生活に生かしていきたいと思ったことは「ブルドッグ魂」です。何事も途中であきらめないうで、食い付いたら離さないように、普段の生活にねばり強さを取り入れていきたいと思いました。

僕は、仕事には厳しさはあるけれども、楽しさや喜びはないと思っていました。しかし、お客の役に立つこと、お客の問題や世界の問題を解決することが仕事の楽しさだと聞いて、すばらしいことだと思いました。

仕事のやりがいとは、世の中のお役に立つこと、どんな仕事にも競争相手がいて、独自性を持つことが必要で、勉強をして相手に負けないサービスを作り出すことがわかりました。たとえを使って説明してくれたので、とてもわかりやすかったです。

仕事とは難しいことであり、職業によって大切なことは全く違うと思っていました。しかしお話を聞いて、どの職業でも大切な芯は変わらないとわかりました。それ

らは学校生活で身につけられることだったので。とても勉強になりました。

今回の講演を聞いて、将来のために今から自分の好きな言葉をメモしたり、中学校の勉強を今以上に真剣に取り組みたいと思いました。とても貴重なことを教えていただきました。